

教育研究所だより

No.226 令和3年12月3日 【発行者】守山市教育研究所 所長 脇阪 久徳
守山市勝部三丁目9番1号(守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター 3・4階)
TEL:077-583-4217 FAX:077-583-4237
E-mail:kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp
HP:http://www.city.moriyama.lg.jp/kyoikukenkyu_index.html

気づき・考え・実行する

ー守山市生徒会サミットの活動からー

守山市小中教育研究会

特別活動部会長 山中 満男

(市立守山中学校 教頭)

令和元年度末より世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症は、市内中学生の生活にも大きく影響を及ぼしました。臨時の休校期間が明け、学校生活が再開したものの、これまで「当たり前」と思っていた様々なことに制限が設けられ、窮屈な思いを強いられながら生活をするようになりました。

マスク着用での対面は、相手の表情を読み取りにくく、意思を疎通するために少なからず苦勞をしています。ソーシャルディスタンスに関しては、あらゆる場面で注意を要し、他人との距離感をつかめず悩んでしまうこともあるようです。とりわけ、最も行動制限の影響を受けたのは、学校行事や特別活動であり、規模の縮小や中止の措置をとられたものも数多くあります。

このように、これまで誰もが全く予想もしていなかった大きな変化を前にしても、私たちは、歩みを止めるのではなく、未来を見つめて歩んでいかなければなりません。そして、その未来を創る主役が、“子どもたち”であることは間違いがありません。

次代を担う子どもたちを育成することをねらいの一つとして、今年度より「生徒会サミット」を開催することとしました。この「生徒会サミット」では、市内6中学校の生徒代表が一堂に会し、各校の活動を交流したり共通の課題を解決したりするために話し合い、合意形成を図ったうえで、今後の活動に反映させるといった取組を進めてきました。その成果として、6月13日(日)に開催した第1回サミットでは、「中学生のスマートフォンの使い方」に焦点を当て、各校の生徒およびその保護者を対象に、アンケートによる実態調査を行うことを決めました。

そして、8月5日(木)に開催した第2回サミットでは、各校で実施した実態調査の分析結果を持ち寄り、情報交換をしました。それらを踏まえて、課題の改善を目指すためのスローガンを作り、啓発活動を推進していくことを決議しました。今後、12月11日(土)開催予定の第3回サミットでは、各校の取組の進捗状況について情報交換を行い、共通課題について話し合う予定です。



「生徒会サミット」を通して、子どもたちがグローバルな視点から自分たちを振り返り、さらに自信をもって活動を進めていってくれるものと期待しています。そして、やがてはこのサミット参加者が、守山ひいては日本の未来をより良いものに変えていくリーダーになってくれるものと信じています。

☆第3回守山市初任者研修

令和3年11月2日（火）、第3回守山市初任者研修を実施しました。

午前は、守山小学校 今村 友哉 教諭の第2学年算数科の研究授業動画を視聴した後、授業研究会を行いました。



「本時の目標に迫る授業実践であったか」という視点で、KJ法によるグループ協議を行い、成果と課題、改善策等について話し合うとともに、学校教育課 金田 泰秀 指導主事から、授業づくりで大事にすべきポイントについてご指導いただきました。

午後は、滋賀県総合教育センター 甲津 千秋係長から、「子ども理解と支援」について、特別支援教育についてのお話をいただきました。

子ども側の視点から生活上の課題に気づくことの大切さやユニバーサルデザインの授業の有効性等、すぐに実践することができる具体的な取組について教えていただきました。

また研修の最後には、当研究所に設置されている適応指導教室「くすのき教室」を見学し、個に応じた支援についての理解も深めました。



☆郷土守山を守る研修講座から 「環境」について学びを深めました。

○令和3年10月16日（土）「We Love 琵琶湖」と題して、赤野井湾周辺の琵琶湖環境について説明を受け、その後、湖底ごみの回収を行いました。胴長靴を着用しての活動でしたが、実際に体験を通しての研修は、琵琶湖の環境を考えるととても良い機会となりました。

○令和3年11月20日（土）「未来へつなぐ環境都市”守山“」と題して、もりやまエコパーク交流拠点施設で、守山市の環境について説明を受け、その後、新環境センターの施設見学を行いました。

「いつも大変な作業をしていただいていることに感謝しています。」や「ごみの分別は大切だと思いました。また、機会があれば参加したいです。」などの感想をいただきました。



「地球温暖化」や、「SDGs」という言葉をよく耳にしますが、まずは、私たち一人ひとりができる範囲で、身近なことから環境を守るための行動を始めることが大切だと考えます。

今後とも郷土守山に学ぶ研修講座への参加を、よろしくお願いいたします。

保護者だけでなく子どもの教育相談も行っています！

思春期には、自分に自信がもてなかったり、勉強や部活動に悩んだり、完璧を目指すあまりに、エネルギーが減って登校できなくなる子どもの姿が見られます。対人関係（家族や友だち）など周囲から受けるストレスが重なって悩みを抱えていることもしばしばです。保護者や子どもが一人で悩みを抱えこまないように、一緒に状況を整理し、学校関係者等とも連携しながら相談活動を進めます。電話による相談も受け付けておりますので、ご活用ください。

【相談専用TEL 583-4237】

※教育相談の専門誌「月刊 教育相談」も貸し出しています。過去5年間分のバックナンバーもそろえていますので、読んでみようと思われる方は電話でお知らせください。

【教育研究所TEL583-4217】



